

# メキシコ株ファンド

## 運用報告書(全体版)

### 第9期

(決算日 2019年11月18日)

(作成対象期間 2019年5月18日～2019年11月18日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	約5年間(2015年5月7日～2020年5月15日)		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資 対 象	ベビーファンド	メキシコ株マザーファンドの 受益証券	
	メキシコ株 マザーファンド	イ. メキシコの金融商品取引 所上場および店頭登録(上 場予定および店頭登録予定 を含みます。)の株式およ び不動産投資信託証券(不 動産投資信託の受益証券お よび不動産投資法人の投資 証券をいいます。) ロ. メキシコの企業のDR (預託証券) ハ. メキシコの株価指数を対 象指数とした上場投資信託 証券(ETF)	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率		無制限
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率		
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、メキシコの株式等に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先(コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			メキシコ ボルサ指数 (円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
5 期末 (2017年11月17日)	8,809	0	△ 4.7	8,124	△ 5.1	93.8	—	4.9	165
6 期末 (2018年 5月17日)	8,809	0	0.0	7,526	△ 7.4	90.5	—	8.4	197
7 期末 (2018年11月19日)	8,027	0	△ 8.9	6,788	△ 9.8	91.1	—	1.0	132
8 期末 (2019年 5月17日)	8,751	0	9.0	7,180	5.8	93.6	—	—	124
9 期末 (2019年11月18日)	9,106	0	4.1	7,060	△ 1.7	97.6	—	—	124

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) メキシコ ボルサ指数 (円換算) は、メキシコ ボルサ指数 (メキシコ・ペソベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

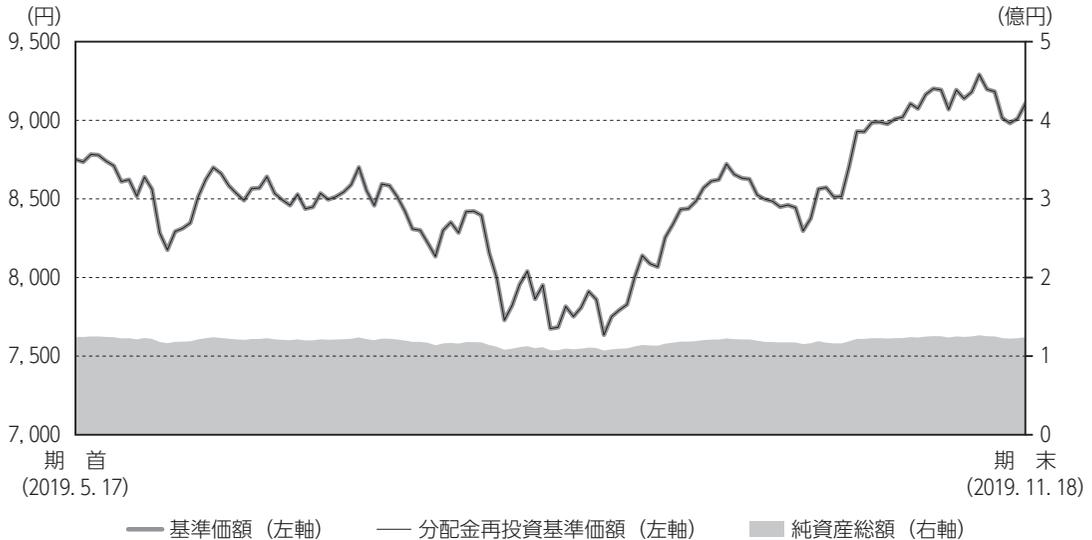
(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額・騰落率

期首：8,751円

期末：9,106円（分配金0円）

騰落率：4.1%（分配金込み）

### 基準価額の主な変動要因

米中貿易摩擦への懸念やメキシコ景気の先行き不透明感から、メキシコの株式市場や通貨は下落しました。しかしこのような環境下でも、保険会社をはじめとする保有銘柄がメキシコ株式市場全体を上回るパフォーマンスを見せたことで、基準価額は上昇しました。

## メキシコ株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		メキシコ ボルサ指数 (円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 証券 組入比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %			
(期首)2019年5月17日	8,751	—	7,180	—	93.6	—	—
5月末	8,562	△ 2.2	6,990	△ 2.6	96.4	—	—
6月末	8,437	△ 3.6	6,985	△ 2.7	94.4	—	—
7月末	8,422	△ 3.8	6,732	△ 6.2	97.0	—	—
8月末	7,999	△ 8.6	6,338	△ 11.7	97.5	—	—
9月末	8,449	△ 3.5	6,739	△ 6.1	96.8	—	—
10月末	9,194	5.1	7,154	△ 0.4	97.9	—	—
(期末)2019年11月18日	9,106	4.1	7,060	△ 1.7	97.6	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2019. 5. 18 ~ 2019. 11. 18)

## ■メキシコ株式市場

メキシコ株式市場は小幅に下落しました。

メキシコ株式市場は、当作成期首よりもみ合う展開で始まりましたが、2019年7月以降は下落基調となりました。メキシコの鉱工業生産が予想以上に落ち込んだことや雇用者数の減少を受け、メキシコ景気の先行きへの懸念が強まったことが主な要因でした。大手銀行が相次いでローン需要の見通しを下方修正したことや、C F E（メキシコ電力公社）が天然ガス・パイプライン契約内容について民間企業との対立を強めたことも悪材料となりました。8月以降も、米中貿易摩擦への懸念の高まりからしばらくは軟調な展開となりましたが、C F Eと民間企業の対立が落ち着いたことやオブラドール政権が民間企業に歩み寄る姿勢を示したことから、株式市場は反発に転じました。その後も、米中通商協議進展への期待などから緩やかな上昇基調で推移し、当作成期末を迎えました。

## ■為替相場

メキシコ・ペソは対円で下落しました。

メキシコ・ペソは、当作成期首より、トランプ米国大統領が2019年5月末に不法移民対策が不十分であるとしてメキシコの全輸入品に追加関税を課すと発表したことから、下落基調で始まりしました。その後、いったんは反発しましたが、8月末にかけて再び下落する展開となりました。米中貿易摩擦に対する懸念からリスク回避の展開となったほか、メキシコ景気の先行きへの懸念が強まったことが悪材料となりました。しかし、9月以降は反発する展開となりました。米中の閣僚級通商交渉を10月に開催することで合意したと報じられるなど、米中貿易摩擦に対する楽観的な見通しが高まり新興国通貨が買い戻されたことが、主な要因となりました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「メキシコ株マザーファンド」の受益証券を通じ、基本的に株式組入比率は高位とする方針です。

### ■メキシコ株マザーファンド

オブラドール政権の経済政策運営に対する懸念は高止まりしているため、政策によっては株式市場が不安定な状態に戻る可能性は残っています。しかし、現政権は財政面の厳しさについても認識しているとみられることから、極端に左派的政策が採用される可能性は低く、政策を過度に懸念する必要はないと考えています。また、不安感を反映して、メキシコ株式市場はすでに魅力的と考えられるバリュエーション水準で取引されています。冷静に政策を見極め、業績見通しや株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行い、中長期的な当ファンドの基準価額上昇をめざしてポートフォリオを構築する方針です。

## ポートフォリオについて

(2019. 5. 18 ~ 2019. 11. 18)

### ■当ファンド

「メキシコ株マザーファンド」の受益証券を通じ、株式組入比率を高位としました。

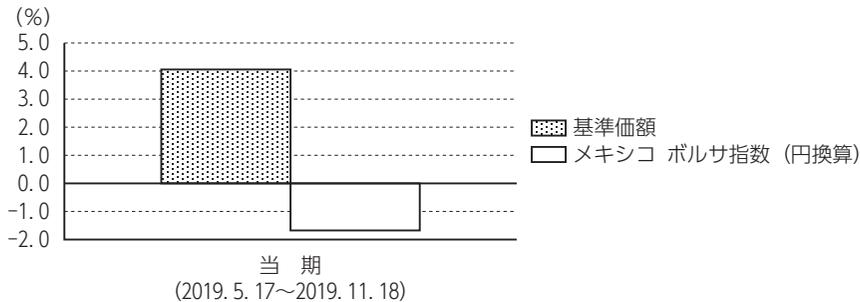
### ■メキシコ株マザーファンド

当作成期は、株式組入比率を高位とし、経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築しました。足元のポートフォリオは、業種では、銀行を中心とした金融セクターや食品会社を中心とした生活必需品セクター、通信会社を中心としたコミュニケーション・サービスセクターを高位の組み入れとしました。個別銘柄では、INFRAESTRUCTURA ENERGETICA NOVA（公益事業）や GRUPO FINANCIERO BANORTE（金融）などを高位の組み入れとしました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数（メキシコ ボルサ指数（円換算））との騰落率の対比です。参考指数はメキシコ株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2019年5月18日 ～2019年11月18日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	380

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「メキシコ株マザーファンド」の受益証券を通じ、基本的に株式組入比率は高位とする方針です。

### ■メキシコ株マザーファンド

メキシコの中長期的な経済成長の恩恵を享受することをめざし、個別銘柄の選別を重視し、運用を行ってまいります。米国との通商問題や不法移民問題、現政権の経済政策への懸念はありますが、メキシコ株式市場には魅力的な投資機会が十分にあります。引き続き、短期的な株式市場の動きに惑わされず、業績見通しや株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行い、当ファンドの中長期的な基準価額上昇をめざしてポートフォリオを構築する方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 5. 18~2019. 11. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	77円	0. 905%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8, 497円です。
(投 信 会 社)	(37)	(0. 439)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(37)	(0. 439)	販売会社分は、運用報告書等各种種類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0. 027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	5	0. 063	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(5)	(0. 063)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	23	0. 274	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(23)	(0. 271)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	105	1. 241	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

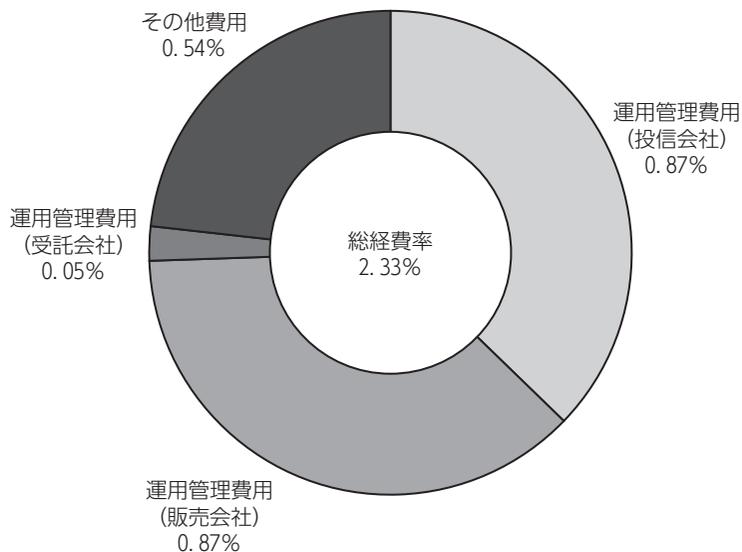
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.33%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## ■売買および取引の状況

## 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年5月18日から2019年11月18日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
メキシコ株マザーファンド	438	400	7,294	6,700

(注) 単位未満は切捨て。

## ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2019年5月18日から2019年11月18日まで)

項 目	当 期
	メキシコ株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	34,473千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	115,127千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.29

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

## ■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首 保有額	当作成期中 設定額	当作成期中 解約額	当作成期末 保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
100	—	—	100	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■組入資産明細表

## 親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千口	千円
メキシコ株マザーファンド	132,208	125,352	123,823	

(注) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2019年11月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
メキシコ株マザーファンド	123,823	99.0
コール・ローン等、その他	1,293	1.0
投資信託財産総額	125,117	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=108.82円、1メキシコ・ペソ=5.67円です。

(注3) メキシコ株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(122,466千円)の投資信託財産総額(123,829千円)に対する比率は、98.9%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年11月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	125,117,126円
コール・ローン等	1,293,448
メキシコ株マザーファンド(評価額)	123,823,678
(B) 負債	1,081,486
未払信託報酬	1,078,255
その他未払費用	3,231
(C) 純資産総額(A-B)	124,035,640
元本	136,210,163
次期繰越損益金	△ 12,174,523
(D) 受益権総口数	136,210,163口
1万口当り基準価額(C/D)	9,106円

\* 期首における元本額は142,354,214円、当作成期間中における追加設定元本額は1,241,648円、同解約元本額は7,385,699円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,106円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は12,174,523円です。

■損益の状況

当期 自 2019年5月18日 至 2019年11月18日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>△ 191円</b>
受取利息	4
支払利息	△ 195
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>5,974,148</b>
売買益	6,144,606
売買損	△ 170,458
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 1,081,495</b>
<b>(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)</b>	<b>4,892,462</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 7,439,434</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 9,627,551</b>
(配当等相当額)	( 1,209,108)
(売買損益相当額)	(△ 10,836,659)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>△ 12,174,523</b>
<b>次期繰越損益金 (G)</b>	<b>△ 12,174,523</b>
追加信託差損益金	△ 9,627,551
(配当等相当額)	( 1,209,108)
(売買損益相当額)	(△ 10,836,659)
分配準備積立金	3,976,413
繰越損益金	△ 6,523,385

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産 (親投資信託) の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：337,419円 (未監査)

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,487,571円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	1,209,108
(d) 分配準備積立金	2,488,842
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	5,185,521
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	5,185,521
(h) 受益権総口数	136,210,163口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

# メキシコ株マザーファンド

## 運用報告書 第9期 (決算日 2019年11月18日)

(作成対象期間 2019年5月18日～2019年11月18日)

メキシコ株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. メキシコの金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券をいいます。） ロ. メキシコの企業のDR（預託証券） ハ. メキシコの株価指数を対象指数とした上場投資信託証券（ETF）
株式組入制限	無制限

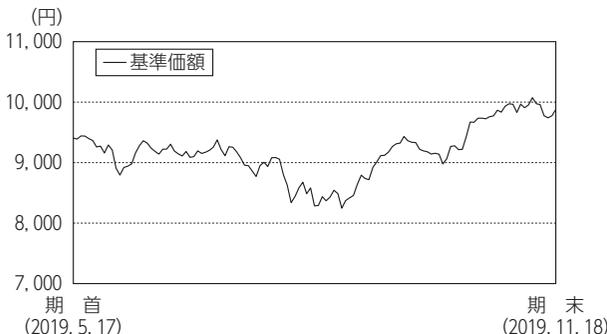
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		メキシコ ボルサ指数 (円換算)		株式 組入 比率	株式 先物 比率	投資信託 証券 組入比率	
	円	%	(参考指数)	%			%	%
(期首)2019年5月17日	9,405	—	7,180	—	93.8	—	—	
5月末	9,208	△ 2.1	6,990	△ 2.6	96.5	—	—	
6月末	9,086	△ 3.4	6,985	△ 2.7	94.6	—	—	
7月末	9,084	△ 3.4	6,732	△ 6.2	97.2	—	—	
8月末	8,640	△ 8.1	6,338	△ 11.7	97.7	—	—	
9月末	9,141	△ 2.8	6,739	△ 6.1	97.0	—	—	
10月末	9,964	5.9	7,154	△ 0.4	98.1	—	—	
(期末)2019年11月18日	9,878	5.0	7,060	△ 1.7	97.8	—	—	

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) メキシコ ボルサ指数 (円換算) は、メキシコ ボルサ指数 (メキシコ・ペソベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】  
期首：9,405円 期末：9,878円 騰落率：5.0%

【基準価額の主な変動要因】

米中貿易摩擦への懸念やメキシコ景気の先行き不透明感から、メキシコの株式市場や通貨は下落しました。しかしこのような環境下でも、保険会社をはじめとする保有銘柄がメキシコ株式市場全体を上回るパフォーマンスを見たことで、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○メキシコ株式市場

メキシコ株式市場は小幅に下落しました。  
メキシコ株式市場は、当作成期首よりもみ合う展開で始まりましたが、2019年7月以降は下落基調となりました。メキシコの鉱工業生産が予想以上に落ち込んだことや雇用者数の減少を受け、メキシコ景気の先行きへの懸念が強まったことが主な要因でした。大手銀行が相次いでローン需要の見通しを下方修正したことや、CFE (メキシコ電力公社) が天然ガス・パイプライン契約内容について民間企業との対立を強めたことも悪材料となりました。8月以降も、米中貿易摩擦への懸念の高まりからしばらくは軟調な展開となりましたが、CFEと民間企業の対立が落ち着いたことやオブラドール政権が民間企業に歩み寄る姿勢を示したことから、株式市場は反発に転じました。その後も、米中通商協議進展への期待などから緩やかな上昇基調で推移し、当作成期末を迎えました。

○為替相場

メキシコ・ペソは対円で下落しました。  
メキシコ・ペソは、当作成期首より、トランプ米国大統領が2019年5月末に不法移民対策が不十分であるとしてメキシコの新輸入品に追加関税を課すと発表したことから、下落基調で始まりました。その後、いったんは反発しましたが、8月末にかけて再び下落する展開となりました。米中貿易摩擦に対する懸念からリスク回避の展開となったほか、メキシコ景気の先行きへの懸念が強まったことが悪材料となりました。しかし、9月以降は反発する展開となりました。米中の閣僚級通商交渉を10月に開催することで合意したと報じられるなど、米中貿易摩擦に対する楽観的な見通しが高まり新興国通貨が買い戻されたことが、主な要因となりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

オブラドール政権の経済政策運営に対する懸念は高止まりしているため、政策によっては株式市場が不安定な状態に戻る可能性は残っています。しかし、現政権は財政面の厳しさについても認識しているとみられることから、極端に左派的政策が採用される可能性は低く、政策を過度に懸念する必要はないと考えています。また、不安感を反映して、メキシコ株式市場はすでに魅力的と考えられるバリュエーション水準で取引されています。冷静に政策を見極め、業績見通しや株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行い、中長期的な当ファンドの基準価額上昇をめざしてポートフォリオを構築する方針です。

◆ポートフォリオについて

当作成期は、株式組入比率を高位とし、経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築しました。足元のポートフォリオは、業種では、銀行を中心とした金融セクターや食品会社を中心とした生活必需品セクター、通信会社を中心としたコミュニケーション・サービスセクターを高位の組み入れとしました。個別銘柄では、INFRAESTRUCTURA ENERGETICA NOVA (公益事業) や GRUPO FINANCIERO BANORTE (金融) などを高位の組み入れとしました。

## ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数（メキシコ ボルサ指数（円換算））の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

参考指数はメキシコ株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

## 《今後の運用方針》

メキシコの中長期的な経済成長の恩恵を享受することをめざし、個別銘柄の選別を重視し、運用を行ってまいります。米国との通商問題や不法移民問題、現政権の経済政策への懸念はありますが、メキシコ株式市場には魅力的な投資機会が十分にあります。引き続き、短期的な株式市場の動きに惑わされず、業績見通しや株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行い、当ファンドの中長期的な基準価額上昇をめざしてポートフォリオを構築する方針です。

## ■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	6円 ( 6)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	25 ( 25) ( 0)
合 計	31

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

## ■売買および取引の状況

## 株 式

(2019年5月18日から2019年11月18日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	メキシコ	百株 778 ( —)	千メキシコ・ペソ 3,078 ( —)	百株 505	千メキシコ・ペソ 3,072

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄

## 株 式

(2019年5月18日から2019年11月18日まで)

当				期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
CORP INMOBILIARIA VESTA SAB (メキシコ)	29.8	4,827	161	QUALITAS CONTROLADORA SAB CV (メキシコ)	10.8	3,777	349
GRUPO MEXICO SAB DE CV-SER B (メキシコ)	15.5	4,043	260	INDUSTRIAS BACHOCO-SER B (メキシコ)	5.4	2,521	466
INFRAESTRUCTURA ENERGETICA N (メキシコ)	6	2,615	435	GRUMA S. A. B. -B (メキシコ)	2.3	2,323	1,010
GRUPO TELEVISIA SAB-SER CPO (メキシコ)	12	2,438	203	GRUPO MEXICO SAB DE CV-SER B (メキシコ)	7.7	2,236	290
BOLSA MEXICANA DE VALORES SA (メキシコ)	6.5	1,157	178	UNIFIN FINANCIERA SAB DE CV (メキシコ)	5.6	1,368	244
GRUPO AEROPORTUARIO DEL CENT (メキシコ)	1.9	1,104	581	GRUPO AEROPORTUARIO DEL CENT (メキシコ)	2	1,324	662
BANCO DEL BAJIO SA (メキシコ)	6.1	1,066	174	GRUPO AEROPORT DEL PACIFIC-B (メキシコ)	1.2	1,290	1,075
				BOLSA MEXICANA DE VALORES SA (メキシコ)	6.5	1,192	183
				LA COMER SAB DE CV (メキシコ)	9	1,185	131

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

# メキシコ株マザーファンド

## ■組入資産明細表 外国株式

銘柄	株数	当株数	期末		業種等	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千メキシコ・ペソ	千円		
(メキシコ)						
INDUSTRIAS BACHOCO-SER B	104.95	50.95	415	2,355	生活必需品	
GRUPO AEROPORTUARIO DEL CENT	95	94	1,246	7,065	資本財・サービス	
UNIFIN FINANCIERA SAB DE CV	56	—	—	—	金融	
MEGACABLE HOLDINGS-CPO	189	189	1,456	8,257	コミュニケーション・サービス	
QUALITAS CONTROLADORA SAB CV	220	112	909	5,159	金融	
LA COMER SAB DE CV	462	372	951	5,397	生活必需品	
GRUPO CEMENTOS CHIHUAHUA	70	70	718	4,076	素材	
BANCO DEL BAJIO SA	267	328	1,003	5,690	金融	
REGIONAL SAB DE CV	97	97	991	5,620	金融	
GRUPO AEROPORT DEL PACIFIC-B	69	57	1,146	6,502	資本財・サービス	
AMERICA MOVIL SAB DE C-SER L	780	780	1,191	6,753	コミュニケーション・サービス	
GRUPO TELEVISIA SAB-SER CPO	146	266	1,152	6,533	コミュニケーション・サービス	
TELESITES SAB DE CV	468.01	468.01	627	3,555	コミュニケーション・サービス	
GRUMA S. A. B. -B	69	46	930	5,277	生活必需品	
BOLSA MEXICANA DE VALORES SA	278	278	1,157	6,561	金融	
ARCA CONTINENTAL SAB DE CV	137	137	1,448	8,213	生活必需品	
CORP INMOBILIARIA VESTA SAB	—	298	981	5,565	不動産	
INFRAESTRUCTURA ENERGETICA N	144	204	1,677	9,511	公益事業	
GRUPO MEXICO SAB DE CV-SER B	158	236	1,252	7,101	素材	
WALMART DE MEXICO SAB DE CV	110	110	601	3,409	生活必需品	
GRUPO FINANCIERO BANORTE-O	145	145	1,494	8,475	金融	
ファンド合計	株数、金額	4,064.96	4,337.96	21,355	121,085	
	銘柄数 < 比率 >	20銘柄	20銘柄		<97.8%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2019年11月18日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	121,085	97.8
コール・ローン等、その他	2,743	2.2
投資信託財産総額	123,829	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=108.82円、1メキシコ・ペソ=5.67円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(122,466千円)の投資信託財産総額(123,829千円)に対する比率は、98.9%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年11月18日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>123,829,480円</b>
コール・ローン等	2,320,027
株式（評価額）	121,085,536
未収配当金	423,917
<b>(B) 負債</b>	<b>8</b>
その他未払費用	8
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>123,829,472</b>
元本	125,352,985
次期繰越損益金	△ 1,523,513
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>125,352,985口</b>
1万口当り基準価額（C／D）	9,878円

\* 期首における元本額は132,208,949円、当作成期間中における追加設定元本額は438,286円、同解約元本額は7,294,250円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、メキシコ株ファンド125,352,985円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,878円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,523,513円です。

## ■損益の状況

当期 自 2019年5月18日 至 2019年11月18日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>1,884,774円</b>
受取配当金	1,883,502
受取利息	1,628
支払利息	△ 356
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>4,221,834</b>
売買益	9,971,577
売買損	△ 5,749,743
<b>(C) その他費用</b>	<b>△ 322,502</b>
<b>(D) 当期損益金（A＋B＋C）</b>	<b>5,784,106</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 7,863,583</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	<b>594,250</b>
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 38,286</b>
<b>(H) 合計（D＋E＋F＋G）</b>	<b>△ 1,523,513</b>
次期繰越損益金（H）	△ 1,523,513

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。